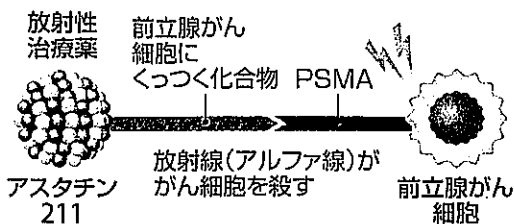


放射性治療薬を治験

県立医大 前立腺がん患者対象

県立医大は18日、ホルモン療法などが効かなくなるなど進行した前立腺がん患者を対象に、放射性治療薬の治験を開始したと発表した。放射線の一種「アルファ線」を出す核種を使った薬剤で、懸念されてきた副作用も抑えられるという。

福島県立医大が治験を開始する放射性治療薬のイメージ



治療薬は、放射性核種「アスタチン211」に、前立腺がん細胞の表面に存在するたんぱく質「PSMA」を標的にしてくっつく化合物を結合させた。静脈注射で投与すると、がんが転移した先にも集まり、がん細胞だけを放射線で殺す。

アルファ線は、放射線の中でもエネルギーは大きい、届く範囲が短いため、正常な細胞を傷つけにくい。ほかの放射性治療薬に利用されている「ベータ線」を出す核種に比べ、アスタ

チン211の半減期は7・2時間と短いのも特徴だ。ただ、アスタチンと化合物の結合は切れやすく、投与後にアスタチンが外れて別の臓器に集積し、副作用を引き起こしかねないことが課題だった。千葉大などが結合が切れにくい化合物を見つけ、副作用が少なくと期待される新規薬を開発した。

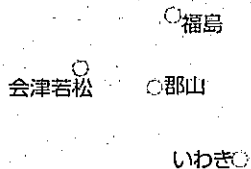
県立医大は、国内でも数少ない加速器(中型サイクロトロン)を所有し、アスタチン211などの放射性核種を自前で製造できるのが強みだ。治験責任医師の小島祥敬教授(泌尿器科)

は「加速器で作れるアスタチンを使うので、(治療薬は)国産にできる」と説明。アルファ線を使うことなどから「外来での治療も可能となる」とも強調した。

今後、患者10〜18人を募り、早ければ年内に安全性などを調べる第1段階の治験を行う。

前立腺がんの放射性治療薬は、まだ国内で承認されたものがなく、ホルモン療法や抗がん剤治療が効かなくなるなどして年間1万2000人が死亡している。海外で治療を受ける患者もいる。国内承認薬や新薬の登場が期待されており、大阪などでもアスタチン211を使った治療薬の治験を始めている。

福島



福島支局
〒960-8063 福島市柳町4-29
電話024-523-1204 F a x 523-1207
メールfukushim@yomiuri.co.jp
郡山支局
〒963-8014 郡山市虎丸町21-10
E M B 郡山ビル704
電話024-922-0678 F a x 923-7272
いわき支局
〒970-8026 いわき市平楽町4-3
電話0246-23-0011 F a x 23-0012
会津若松支局
〒965-0042 会津若松市大町1-8-5
電話0242-22-8016 F a x 22-8017
南相馬通信部 0244-24-4061
ホームページ
www.yomiuri.co.jp/local/

購読は
Y 0120-4343-81

福島 557-3364 会津若松 25-0601
郡山 922-2210 いわき 25-2537
白河 23-2539 須賀川 73-2757
南多摩 24-5081 原町 23-3551
相馬 35-2613 二本松 22-2325
【販売会事務局】
福島東(いわき) 24-2911
福島西(郡山) 931-2216
【広告】販売Palette 522-4541
【折込広告】
宮城販売 I S 福島支社(郡山) 923-7876

9月20日(土曜日)
旧 7月29日<大安>

■ 月齢27.9 (午正)
福島 小名浜 2.26
日 出 5.24 満潮 15.39
日 入 17.39 干潮 9.05
月 出 3.31 21.20
月 入 16.53 (中潮)